

解決したい課題、共創を通じて実現したいこと

[テーマ① 環境再生型農業の実現に向けた資材の素材探索と事業連携]

弊社は1917年の創業以来、農業生産資材の提供を事業の根幹として北海道における農業への貢献を目指してきました。現中期計画においては、Well-beingな社会の形成に向けて「環境再生型農業（Regenerative農業）の推進」を掲げております。このたび、農業生産活動と環境負荷低減の両立の観点から注目を集めるバイオスティミュラント資材等の各種農業資材の拡充に向けて、素材提供や共同開発、弊社商流を介した普及などの事業連携をいただけるパートナーを募集します。弊社の試験圃場を使った共同のPoCなども可能です。

[テーマ② 農業分野のJ-クレジットの創出に活用可能な技術・ソリューションの拡充に向けた事業連携]

弊社の顧客である農業生産者様がカーボンクレジット制度（J-クレジット制度）を活用する際に必要となる、環境モニタリングシステムのサブスクリプションサービス「Greet（グリット）」の開発と提供、そのサービスを活用したカーボンクレジットの申請サポートを実施しています。現在は「水稻における中干期間の延長プロジェクト（AG-005）」を対象としていますが、他の農業や畜産分野からのカーボンクレジット創出を目指し、それらに適用可能な温室効果ガス削減に資する技術や、温室効果ガスの削減量をモニタリングするシステムなどの共同開発、弊社ネットワークを介した普及などの事業連携をいただけるパートナーを募集します（新規の方法論検討も含む）。

[テーマ③ 農業用途“以外”の小型無人航空機の活用に向けた事業連携]

弊社は、1989年に北海道で初めて産業用無人ヘリコプターを導入して以来、グループ会社とともに機体販売だけでなく、操縦者（オペレーター）の養成、有資格者による機体整備、小型無人航空機による作業受託を行ってきました。これらのノウハウ、人材をもとに橋梁点検や物資輸送、ドローンサッカーなどのエンタメ利用も含め、農業用途以外へのさらなる展開を進めています。こうした農業用途“以外”への展開に活用可能なソリューションの共同開発や実証実験、普及連携、「空飛ぶクルマ」など次世代エアモビリティの社会実装試験等を進めていただけるパートナーを広く募集いたします。

共創時に提供可能性のあるリソース

- 実証、共同研究フィールドとして北広島市西の里地区に有する5.5haの試験圃場をご利用いただけます（全テーマ共通）。
- 弊社が有する農業生産者、農業協同組合などの関係機関とのネットワークや商流の他、弊社も事務局を務める、農業分野の最新技術、研究と生産者をつなぐ組織「スマート農業共同体（通称：SAC）」が有する2,000名もの生産者、関係者とのネットワークをご活用いただけます（テーマ①・②）。
- 北海道内に4事業所を有し、小型無人航空機の機体販売や整備を担う北日本スカイテック株式会社のネットワークや、同社に蓄積している機体整備、飛行手続き、操縦といった専門ノウハウをご活用いただけます（テーマ③）。

担当者メッセージ（マーケティング事業本部）

大正時代の創業から一貫し、新規事業や技術を積極的に導入してきました。弊社は他社メーカー製品を取り扱う商社機能だけでなく、農業資材や小型無人航空機の制御システムなどの自社オリジナル製品の開発も行っている事業者です。今回の3つのテーマについては、研究段階のアイデア、共同開発のご提案、確立された技術の普及にいたるまで広くご提案を募集します。

参考情報リンク

[企業概要]

<https://sun-green.co.jp/corporate/>

[共創・協業等の関連情報]

<https://sun-green.co.jp/sys/wp-content/uploads/2025/07/taiyo106-02.pdf>